

統合医学演習

| | | | |
|--------------|----|--|----------------|
| 責任者・コーディネーター | | 感染症学・免疫学分野 村木 靖 教授 | |
| 担当講座・学科（分野） | | 分子医化学分野、衛生学公衆衛生学講座、消化器内科消化管分野、腫瘍生物学研究部門、消化器内科肝臓分野、統合生理学分野、情報伝達医学分野、細胞生物学分野、糖尿病・代謝・内分泌内科分野、感染症学・免疫学分野、循環器内科分野、機能病態学分野、呼・アレ・膠原病内科分野小児科学講座、血液腫瘍内科分野、産婦人科学講座 | |
| 担当教員 | | 古山 和道 教授、坂田 清美 教授、松本 主之 教授、前沢 千早 教授、滝川 康裕 教授、中隴 克己 教授、平 英一 教授、齋野 朝幸 教授、高橋 義彦 准教授、吉野 直人 特任准教授、房崎 哲也 特任准教授、及川 浩樹 講師、内海 裕 助教、外館 玄一郎 助教、筑紫 泰彦 助教、尾上 洋樹 助教 | |
| 対象学年 | | 区分・時間数 | 演習 16コマ 24.0時間 |
| 期間 | 後期 | | 実習 0コマ 0.0時間 |

・学習方針（講義概要等）

医療の実践には、医学領域に関する基盤知識の修得ばかりでなく、個々の患者の病態生理を正確に把握し、適切な治療に結びつける問題解決能力を必要とする。そのためには、生命科学や衛生環境を含む基礎医学と各種疾病の病因、病態に関する知識を統合する能力が要求される。本演習では、2学年で学んだ基礎医学の知識と3・4学年で学んだ疾病の病因・病態生理、診断に関する基盤知識を統合・整理する能力を総じて演習形式で涵養する。

・教育成果（アウトカム）

第4学年に至るまでに各教科で学んできた知識を横断的に整理し、臨床実習に臨むために必要不可欠な医学的知識について説明できる。

（ディプロマ・ポリシー： 4 ）

・到達目標（SBOs）

| No. | 項目 |
|-----|---------------------------|
| 1 | 演習問題の作問意図を指摘できる。 |
| 2 | 演習問題の関連知識を説明できる。 |
| 3 | 正解を導くに至った基礎知識と思考過程を説明できる。 |

・講義場所

講義： 矢巾キャンパス西1-D講義室

・講義日程（コアカリは演習の元となる各講義に等しいことから省略する）

| 区分 | 月日 | 時限 | 講座（学科） | 担当教員 | 講義内容 | 到達目標 番号 | コアカリ |
|----|---------|----|----------------|-------------|----------------------------------|------------|------|
| 演習 | 8/21(火) | 1 | 糖尿病・代謝・内分泌内科分野 | 高橋 義彦 准教授 | 糖尿病・代謝・内分泌学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/21(火) | 2 | 小児科学講座 | 外館 玄一郎 助教 | 小児科学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/21(火) | 3 | 循環器内科分野 | 房崎 哲也 特任准教授 | 循環器学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/21(火) | 4 | 消化器内科肝臓分野 | 滝川 康裕 教授 | 消化器（肝臓）分野の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/22(水) | 1 | 衛生学公衆衛生学講座 | 坂田 清美 教授 | 公衆衛生学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/22(水) | 2 | 機能病態学分野 | 及川 浩樹 講師 | 病理学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/22(水) | 3 | 細胞生物学分野 | 齋野 朝幸 教授 | 解剖学（細胞生物分野）の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/22(水) | 4 | 産婦人科学講座 | 尾上 洋樹 助教 | 産婦人科学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/23(木) | 1 | 分子医化学分野 | 古山 和道 教授 | 生化学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/23(木) | 2 | 統合生理学分野 | 中隴 克己 教授 | 生理学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/23(木) | 3 | 腫瘍生物学研究部門 | 前沢 千早 教授 | 腫瘍学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/23(木) | 4 | 血液腫瘍内科分野 | 筑紫 泰彦 助教 | 血液病学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/24(金) | 1 | 呼・アレ・膠原病内科分野 | 内海 裕 助教 | 呼吸器学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/24(金) | 2 | 情報伝達医学分野 | 平 英一 教授 | 薬理学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/24(金) | 3 | 消化器内科消化管分野 | 松本 主之 教授 | 消化器（消化管）分野の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |
| 演習 | 8/24(金) | 4 | 感染症学・免疫学分野 | 吉野 直人 特任准教授 | 微生物・感染症学の領域で学習した内容についての総まとめ演習 | 1、2、3 | - |

・教科書・参考書等

| 区分 | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|
| 登録済みの教科書・参考書等はありません | | | | |

・成績評価方法

| |
|---|
| <p>総括評価：試験成績により評価する。 形成的評価：講義中に実施する択一式の演習問題の理解度をクリッカーを用いて即時把握し、誤答が多い選択肢を重点的に解説し、学生にフィードバックを行う。</p> |
|---|

・特記事項・その他

| |
|--|
| <p>シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。</p> |
|--|

・教育資源

| |
|------------------------------|
| 教科書・参考書、講義室、図書館、PC、インターネット環境 |
|------------------------------|

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------------------|----------|----|------|
| 登録済みの機器・器具はありません | | | |